

令和7年度（令和6年度実施）入学者選抜について(説明会)

沖縄県立芸術大学

－ 美術工芸学部 －

－ 音楽学部 －



令和6年3月14日(木) 13:30～

内 容

1. はじめに
2. 入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)について
3. 令和7年度以降の入学者選抜について
4. 本学の学びの特徴
5. 本学学生の就職状況について
6. 質問事項への対応について
7. その他



1. はじめに

1-1. 本学の人材育成の目的

「建学の理念」の具現化

- 建学の理念
- 設置の基本構想



建学の理念（昭和58年12月20日）

日本文化の中における沖縄の地域文化の特性と伝統は、極めて特徴的であり、文化伝統の源流を探り、文化生成の普遍性を究めるために不可欠の内容をもつものである。わけても**沖縄固有の風土によって培われた個性的な芸術文化の継承と創造の問題は、**日本文化としてはもちろんのこと、**沖縄県にとっても重要な課題であるといわざるを得ない。そして、それらを担う人材の育成もまた長い未来への架橋として緊要なことである。**

県立芸術大学を**建学する基本的な精神は、沖縄文化が造りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追究することにあるが、**そのためには、地域文化の個性を明らかにし、その中に占める美術・工芸、音楽・芸能等さまざまな伝統芸術の問題に積極的かつ具体的に取り組み、その特性を生かすことでなければならない。このことは、日本文化の内容をより豊かにするとともに、ひいては、国際的な芸術的文化活動にも寄与するものと信ずる。

我が国の最南に位置する県立芸術大学は、東アジア、東南アジアを軸とした太平洋文化圏の中心として、それらの地域における多様な芸術文化の実態と、地域文化伝統の個性とのかかわりを明らかにし、その広がりを追究し、汎アジア的芸術文化に特色をおいたユニークな研究教育機関にしたい。

1-1. 本学の人材育成の目的

「建学の理念」の具現化

- 建学の理念
- 設置の基本構想



設置の基本構想（昭和58年12月20日）

- (1) 県立芸術大学は、建学の理念に基づき、伝統芸術文化の地域的個性を明らかにすると同時に、アジア地域における芸術文化とのかかわりを教育・研究の特色とし、これらを通して伝統芸術の継承と新たな芸術の創造に資するとともに時代の要請にも対応できる新しい大学像を求める。
- (2) 県立芸術大学の組織機構については美術・工芸及び音楽の教育研究を行う2学部と主として伝統芸術文化の研究並びに普及を行う附属研究所の三者で構成し、これら組織の密接な連携のもとに、総合性、柔軟性及び国際性をもつ開かれた大学を指向する。
- (3) 学術研究については、特に沖縄を中心とした南島文化の多様な実態と伝統芸術文化の個性を明らかにするとともに、汎アジア的な広がりにおける東洋芸術文化の研究を行い、それらを通して芸術文化の国際交流を推進していく。
- (4) 教育については、地域における伝統芸術文化の教育に特色をおき、特に学外実習による実践教育を行うとともに芸術普遍の立場から哲学的、美学的な基礎教育を重視し、芸術文化に対する深い理解と創造力豊かで将来社会における幅広い実践活動に役立つ人材の育成を図る。
- (5) 附属研究所については、地域社会との関連を重点におき、伝統芸術及びその関連分野の研究を行い、これらを通じて伝統芸術に係る後継者の指導育成を図るとともに、伝統芸術を基調とした芸術文化の創造発展に寄与せしめる。また、研究成果については、広く社会に公開するとともに、普及講座及び移動大学等の運営を図る。
- (6) 入学者の選抜方法については、創意工夫を行い、外国人学生についても配慮する。また、高等学校における芸術系課程との関係を密にする。

2. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）について

【沖縄県立芸術大学 入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

*** 各学部のアドミッション・ポリシーについては各学部が後日実施する説明会において周知します。**

■ アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

1 教育の理念

沖縄県立芸術大学の建学の基本的な精神は、沖縄文化が造りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追究することにあります。これに基づき、伝統芸術の継承と発展にとどまらず、新たな芸術創造の可能性を広げ、幅広く芸術分野で活躍できる人材を育成していきます。さらに、学生の専門的力量を高め、豊かな人間性と社会性を身につける教育を目指します。

2 本学の求める人物像

- ・ 本学の教育の理念をよく理解し、学習に必要な基礎的知識・技能を備えている人
- ・ 芸術に強い関心があり、自ら課題を発見し解決するための思考力や判断力、表現力を備えている人
- ・ 多様な芸術文化に興味を持ち、主体的に人々と協働し、現代社会に向けて新しい芸術創造の営みを発信していく意欲に満ちた人

3 入学者選抜区分

- ・ 本学では一般選抜、学校推薦型選抜、**総合型選抜**及び社会人選抜を実施します。

4 入学者選抜試験の基本方針と実施

- ・ 一般選抜においては、大学及び各学部のアドミッション・ポリシーに基づき、大学入学共通テストの成績を利用した選抜試験と個別学力検査等（実技検査、小論文、口述試験、面接等）を実施します。なお、大学入学共通テストについて、**国語、外国語及びその他任意の1科目の合計3科目**（国語及び外国語の2教科必須、他の教科から1科目を選択。英語はリスニングテストを含む。）を試験科目として課します。
 - ・ 学校推薦型選抜においては、実技検査、小論文、面接等を実施します。
 - ・ **総合型選抜においては、実技検査、小論文、プレゼンテーション、面接等を実施します。**
 - ・ 音楽学部の社会人選抜においては、個別学力検査等（専攻試験、小論文等）を実施します。
- いずれの試験においても、本学での学習に必要な「学力の3要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等）」を測り評価します。

3. 令和7年度以降の入学者選抜について

- 3-1. 総合型選抜について
- 3-2. 募集人員の変更について
- 3-3. 入学者選抜試験の実施教科・配点について
- 3-4. 「総合的な探求の時間」について
- 3-5. 大学入学共通テストについて
- 3-6. 総合型選抜「活動報告書」「プレゼンテーション」について
- 3-7. 出願について
- 3-8. 選抜日程及び各種要項等の公表時期について

3-1. 総合型選抜について

本学では、多様な入学者を受け入れるため、令和7年度入学者選抜（令和6年度実施）より、総合型選抜を導入します。学部ごとの対応は以下の通りです。

* 総合型選抜の詳細については、[別紙2](#)を参照してください。

【美術工芸学部】	【音楽学部】
美術学科彫刻専攻、デザイン工芸学科工芸専攻では、令和7年度入学者選抜（令和6年度実施）より、一般選抜後期試験を廃止し、総合型選抜を実施します。	音楽学部音楽学科の各専攻では、令和7年度入学者選抜（令和6年度実施）より、総合型選抜を実施します。

3-2. 募集人員の変更について

本学では、令和7年度入学者選抜（令和6年度実施）の募集人員を以下のように変更します。

3-2-1.

【美術工芸学部】〈令和7年度入学者選抜募集人員〉

学部	学部	専攻	定員	募集人員					
				一般選抜		学校推薦型 選抜		総合型 選抜	私費外国 人留学生 選 抜
				前期 日程	後期 日程	県内枠	全国枠		
美術工芸学 部	美術学科	絵画	10	5	3	1	1	<u>0</u>	若干名
		彫刻	5	<u>5</u>	<u>0</u>	0	0	若干名	若干名
		芸術学	6	4	0	1	1	<u>0</u>	若干名
	デザイン 工芸学科	デザイン	20	14	0	3	3	<u>0</u>	若干名
		工芸	24	10	<u>0</u>	5	5	<u>4</u>	若干名
	計		65	<u>38</u>	<u>3</u>	10	10	<u>4</u>	若干名

3-2. 募集人員の変更について

3-2-2.

【音楽学部】〈令和7年度入学者選抜募集人員〉

学部	学科	専攻	コース	定員	募集人員						
					一般選抜		学校推薦型 選抜		総合型 選抜	社会人 選抜	私 費 外国人留 学生選抜
					前期 日程	後期 日程	県内枠	全国枠			
音楽学部	音楽 学科	音楽表現専攻	声 楽	23	13	0	4	6	若干名	0	若干名
			ピ ア ノ								
			弦 楽								
			管 打 楽								
			作曲理論								
		音楽文化専攻	沖縄文化	7	3	0	1	1	2	0	若干名
			音 楽 学								
		琉球芸能専攻	琉球古典音楽	10	2	0	3	1	4	若干名	若干名
			琉球舞踊組踊								
		計			40	18	0	8	8	6	若干名

3-3. 入学者選抜試験の実施教科・配点について

令和7年度入学者選抜（令和6年度実施）における実施教科・配点について以下の通りとします。

3-3-1. 【美術工芸学部】

令和7年度 沖縄県立芸術大学 入学者選抜試験（一般選抜）の実施教科・配点等（美術工芸学部）																		
学部・学科等名及び入学定員等			学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
				教科	科目名等		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	情報	外国語 (50:50)	小論文	実技	面接	配点 合計
美術工芸学部 65人 前期38 後期3 その他24	美術学科 21人 前期14 後期3 その他4	絵画専攻 前期5 後期3 その他2	前期 2/25～ 2/27 (予定) 後期 3/12～ 3/14 (予定)	国語	国を必ず受験 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、「地総、歴総、公」、「公、倫」、「公、政・経」、「数Ⅰ、数Ⅱ」、「数Ⅲ」 「数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ」 「物基、化基、生基、地学基」 「物」、「化」、「生」、「地学」 から1	前期 実技検査 (素描) (着彩) 面接	共通テスト	100	*100	*100	*100	*100	*100	100 (50:50)				300
				地理・公民			個別学力検査等									600	100	700
				数学			計	100	*100	*100	*100	*100	*100	100 (50:50)		600	100	1000
		彫刻専攻 前期5 その他2	前期 2/25～ 2/27 (予定) 後期 3/12～ 3/14 (予定)	理科		後期 実技検査 (着彩) (作品資料) 小論文	共通テスト	100	*100	*100	*100	*100	*100	100 (50:50)				300
				情報			個別学力検査等								100	500	100	700
				外国語			計	100	*100	*100	*100	*100	*100	100 (50:50)	100	500	100	1000
		芸術学専攻 前期4 その他2	前期 2/25～ 2/27 (予定) 後期 3/12～ 3/14 (予定)	外国語		実技検査 (素描) (塑造) 面接	共通テスト	100	*100	*100	*100	*100	*100	100 (50:50)				300
							個別学力検査等									600	100	700
							計	100	*100	*100	*100	*100	*100	100 (50:50)		600	100	1000
	デザイン工芸学科 44人 前期24 その他20	デザイン専攻 前期14 その他6	前期 2/25～ 2/27 (予定) 後期 3/12～ 3/14 (予定)			実技検査 (素描) (色彩構成) (立体構成) 面接	共通テスト	200	*200	*200	*200	*200	*200	200 (100:100)				600
							個別学力検査等								*300	*300	100	400
							計	200	*200	*200	*200	*200	*200	200 (100:100)	*300	*300	100	1000
		工芸専攻 前期10 その他14	前期 2/25～ 2/27 (予定) 後期 3/12～ 3/14 (予定)			実技検査 (素描) (色彩構成) 面接	共通テスト	100	*100	*100	*100	*100	*100	100 (50:50)				300
							個別学力検査等									600	100 (プレゼン含む)	700
							計	100	*100	*100	*100	*100	*100	100 (50:50)		600	100	1000

令和 7 年度 沖縄県立芸術大学 入学者選抜試験(学校推薦型選抜)の実施教科・配点等（美術工芸学部）																
学部・学科等名及び入学定員等			学力検査等の 区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								
				教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	小論文	課題作品	面接	口述試験	配点合計			
美術工芸学部 学校推薦型選抜 20	美術学科 学校推薦型選抜 4	絵画専攻 学校推薦型選抜 2	学校推薦型選抜 11/23～24 (予定)			その他	課題作品 小論文 面接	個別学力検査等	200	400	100		700			
		その他				小論文 口述試験 面接	個別学力検査等							500	200	300
	デザイン工芸学科 学校推薦型選抜 16	デザイン専攻 学校推薦型選抜 6				その他		課題作品 小論文 面接	個別学力検査等	300	300	300				
		工芸専攻 学校推薦型選抜 10				その他	課題作品 小論文 面接	個別学力検査等						200	400	200 (プレゼン含む)

令和7年度 沖縄県立芸術大学 入学者選抜試験(総合型選抜)の実施教科・配点等（美術工芸学部）													
学部・学科等名及び入学定員等			学力検査等の 区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等					
				教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	小論文	実技	面接	作品資料・ ファイル	配点合計
美術工芸学部 総合型選抜 4	美術学科 総合型選抜 若干名	彫刻専攻 総合型選抜 若干名	総合型選抜 9/28～9/29 (予定)			その他	小論文 実技（作品提出） 面接・ 作品資料	個別学力検査等	200	300	100	400	1000
	デザイン工芸学科 総合型選抜 4	工芸専攻 総合型選抜 4				その他	実技 面接	個別学力検査等		500	500 (プレゼン含む)		1000

3-3. 入学者選抜試験の実施教科・配点について

令和7年度入学者選抜（令和6年度実施）における実施教科・配点について以下の通りとします。

3-3-2. 【音楽学部】

令和7年度 沖縄県立芸術大学 入学者選抜試験の実施教科・配点等（音楽学部）																																
学部・学科等名及び入学定員等			学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの 利用教科・科目名			個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等																							
				教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地理	公民	数学	理科	情報	外国語 ※英検1級	専攻試験	音楽に関する基礎能力検査	書類審査・面接	プレゼンテーション	配点合計											
音楽学部 40人 前期18 後期16 総合6	音楽学科 49人 前期18 後期16 総合6	音楽表現専攻	総合型選抜	免除		その他	〔声楽コース〕 専攻試験、プレゼンテーション、書類審査・面接		個別学力検査等								700		200	100	1000											
							〔ピアノコース〕 専攻試験、プレゼンテーション、書類審査・面接																									
							〔作曲コース〕 専攻試験、プレゼンテーション、書類審査・面接																									
							〔管打コース〕 専攻試験、プレゼンテーション、書類審査・面接																									
							〔民族音楽コース〕 専攻試験、プレゼンテーション、書類審査・面接																									
							〔沖縄文化コース〕 専攻試験、プレゼンテーション、書類審査・面接																									
		音楽文化専攻	総合2	その他	〔琉球古典音楽コース〕 専攻試験、プレゼンテーション、書類審査・面接													500		200	300	1000										
					〔琉球舞踊組踊コース〕 専攻試験、プレゼンテーション、書類審査・面接																											
					〔琉球舞踊組踊コース〕 専攻試験、プレゼンテーション、書類審査・面接																											
					〔琉球舞踊組踊コース〕 専攻試験、プレゼンテーション、書類審査・面接																											
					〔琉球舞踊組踊コース〕 専攻試験、プレゼンテーション、書類審査・面接																											
					〔琉球舞踊組踊コース〕 専攻試験、プレゼンテーション、書類審査・面接																											
	琉球芸能専攻	総合4	免除		その他	〔声楽コース〕 実技検査、コール・ユー・プンザン、楽典、聴音、副科ピアノ、面接		個別学力検査等									650	250	100		1000											
						〔ピアノコース〕 実技検査、楽典、聴音、面接																										
						〔弦楽コース〕 実技検査、楽典、聴音、副科ピアノ、面接																										
						〔管打コース〕 実技検査、楽典、聴音、副科ピアノ、面接																										
音楽文化専攻	推薦2	琉球芸能専攻	推薦4		その他	〔沖縄文化コース〕 小論文、口述試験、楽典、音楽または舞踊の実技、面接		個別学力検査等									600	200	200		1000											
						〔音楽学コース〕 小論文、口述試験、楽典、聴音、副科ピアノ、面接																										
						〔琉球古典音楽コース〕 実技検査、楽典、面接																										
						〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、初見視唱、楽典、面接																										
音楽表現専攻	一般選抜前期	推薦13名	2/25～2/27 (予定)	国語	地理・公民	数学	理科	情報	外国語	国を必ず受験 （英語はリスニングテストを含む。） 3教科3科目	から1	その他	〔声楽コース〕 実技検査、コール・ユー・プンザン、楽典、聴音、副科ピアノ、面接		大学入学共通テスト	100 (50 : 50)							300									
													〔ピアノコース〕 実技検査、楽典、聴音、面接																			
													〔弦楽コース〕 実技検査、楽典、聴音、副科ピアノ、面接																			
													〔管打コース〕 実技検査、楽典、聴音、副科ピアノ、面接																			
音楽文化専攻	前期3											その他	〔作曲理論コース〕 口述試験、楽典、聴音、副科ピアノ、面接		大学入学共通テスト	100 (50 : 50)								300								
													〔沖縄文化コース〕 小論文、口述試験、楽典、音楽または舞踊の実技、面接																			
													〔音楽学コース〕 小論文、口述試験、楽典、聴音、副科ピアノ、面接																			
													〔琉球古典音楽コース〕 実技検査、楽典、面接																			
琉球芸能専攻	前期2											その他	〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、初見視唱、楽典、面接		大学入学共通テスト	100 (50 : 50)									300							
													〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、初見視唱、楽典、面接																			
													〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、初見視唱、楽典、面接																			
													〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、初見視唱、楽典、面接																			
社会人				免除		その他	〔琉球古典音楽コース〕 実技検査、小論文、口述試験、面接		個別学力検査等																							
							〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、初見視唱、小論文、口述試験、面接																									

3-4. 「総合的な探求の時間」について

- 高等学校の「総合的な探求の時間」の取組については、本学入学者選抜における面接試験等の総合評価に活用します。

3-5. 大学入学共通テストについて

(1) 一般選抜以外の区分における大学入学共通テストの取り扱いについて

【美術工芸学部】

「学校推薦型選抜」「総合型選抜」について、大学入学共通テストの受験を課します。大学入学共通テストの結果は合否判定には用いませんが、本学美術工芸学部が指定する教科・科目の受験をしなかった場合及び科目の得点の中に0点がある場合は、合格発表後であっても合格を取り消すことがあります。

【音楽学部】

「学校推薦型選抜」「総合型選抜」「社会人選抜」について、大学入学共通テストを免除します。

3-5. 大学入学共通テストについて

- (2) 大学入学共通テストの利用教科・科目について
＊ 詳細は別表2を参照してください。

3-6. 総合型選抜 「活動報告書」「プレゼンテーション」について

- 3-6-1.
【志願理由】
【活動報告】
【プレゼンテーション】

など、志願者自身により、必要事項を所定の様式に記入します。

*「活動報告」に関する様式については決定次第公表します。

●「活動報告」とは、大学入学までに取り組んだ事柄のことで、総合型選抜の趣旨から、専門分野に限らず、志願者自身に取り組んだ内容であれば分野、種別は問いません。

●「志願理由」「活動報告」「総合的な探求の時間」の取組や「資格」など、様式の項目に沿って、志願者本人により記載してください。

●記載にあたっては、様式の枠内で記載することや文字フォントなど、定められた範囲で記載しているかどうかにも評価対象となります。注意事項を踏まえて記載してください。

●必ずしも全ての項目を記載する必要はありません。審査にあたり、記載項目の多寡による評価への影響はありません。活動の内容そのものやそれらの活動によってどのような学びを得たか、という観点を重視します。

3-6. 総合型選抜 「活動報告書」 「プレゼンテーション」について

• 3-6-2. 【プレゼンテーション】

様式に必要な事項を記載し、試験当日に口頭で発表（プレゼンテーション）を行ってもらいます。

* 「プレゼンテーション」に関する様式など、詳細については、決定次第、公表します。

3-7. 出願について

- 総合型選抜：専願
- 学校推薦型選抜：専願
- 一般選抜：併願可（学内併願含む）

3-8. 選抜日程及び各種要項等の公表時期について

【選抜時期】

- 総合型選抜（2024年9月）
- 学校推薦型選抜（2024年11月）
- 一般選抜（2025年2月～3月）
- 社会人選抜（同上）
- 私費外国人留学生選抜（同上）

【要項等公表時期】

- 総合型選抜（2024年6月）
- 学校推薦型選抜（2024年7月）
- 一般選抜（2024年7月）
- 社会人選抜（同上）
- 私費外国人留学生選抜（同上）

4. 本学の学びの特徴（人材育成の取組）

背景 島嶼県である沖縄は、各島々において独自の工芸及び芸能文化が存在し、民俗芸能文化の宝庫ともいべき土地柄である。これらは、琉球國時代から現代の沖縄に至るまでの各時代の社会構造や生活様式を色濃く反映したものとなっている。

本学は、以上のような地政学的、文化的特性をもった沖縄のアイデンティティを芸術文化に収斂させて設置構想したところに大きな特徴がある。

本学の教育研究の柱は、建学の理念に謳う「個性の美と普遍の美」に象徴的に示されているように、多様な芸術文化の比較研究であり、また沖縄という地域・風土に根差した個性・特色ある芸術文化の継承とそれらを活用した新たな芸術創造にあることを踏まえた人材教育を行っている。

本項では、以下の3項目について紹介します。

4-1. 本学教育における人材育成

4-2. 本学のキャリア・就職支援



開学当時の一般教育棟

4-1. 本学教育における人材育成

4-1-1 地域や社会との連携による専門教育 及び研究の実践

4-1-2 地域文化に関わる教育及び研究

4-1-3 研究成果及び専門的知識・技術の提供

4-1-4 首里城復元における技術継承・人材 育成の取組



取組内容 本学の建学の理念及び基本構想には、地域のさまざまな伝統芸術の問題に積極的かつ具体的に取り組むこと、また積極的に学外実習を導入した教育を行うことが謳われており、学内に蓄積された芸術的資産や能力を地域に還元することは本学の責務である。

地域や社会との連携による課題解決型の教育を取り入れる
他、他機関と連携して研究成果や専門的知見を提供している。

【地域や社会との連携による専門教育

及び研究の実践】

美術工芸学部の取組…特産品開発、地域や病院との連携)

音楽学部の取組…美ら島財団、沖縄県庁、沖縄協会との連携
公演による地域貢献活動

【地域文化に関わる教育及び研究】

- ・組踊や琉球舞踊、沖縄芝居等に用いられてきた
「しまくとぅば（琉球語）」による教育の実践

【研究成果及び専門的知識・技術の提供】

- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業（県立博物館・美術館）
- ・首里城復興基金事業（沖縄県）
- ・首里城歴史文化継承基金(未来基金)事業（沖縄県）

【首里城復元における技術継承・人材育成の取組】

- ・沖縄総合事務局、沖縄県、(一財)沖縄美ら島財団、沖縄県立芸術大学の4機関による連携協定の締結

4-1-1. 地域や社会との連携による専門教育及び研究の実践

美術工芸学部の特産品開発プロジェクト①：デザイン専攻における特産品開発

【美術工芸学部デザイン専攻】

H15年度より沖縄県内市町村と連携し、地域の特産品開発を行っている。

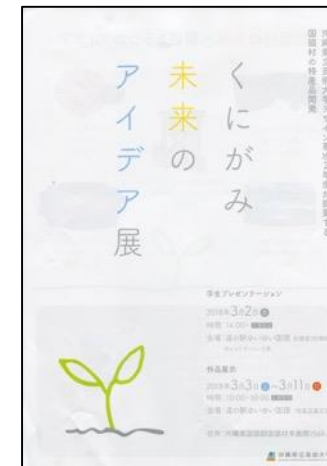
地域のニーズと課題を理解し、実現可能な商品設計を提案する授業を通して、社会におけるデザインの役割を考える。



「中城村特産品プロジェクト」



「恩納村特産品プロジェクト」



「国頭村特産品プロジェクト」 22

4-1-1. 地域や社会との連携による専門教育及び研究の実践

美術工芸学部取組事例②：彫刻専攻における地域との連携

【美術工芸学部彫刻専攻】

H16～25年度に北中城村と、
H29～R1年度には名護市豊原区
との連携による、地域のニーズを
理解するためのリサーチに基づく
パブリックアートの実践授業。



作業風景：北中城村



名護市豊原区



連携地域との協議により選定された区域や沿道等に計画的に展示している（北中城村）



名護市豊原区

4-1-1. 地域や社会との連携による専門教育及び研究の実践

美術工芸学部取組事例③：絵画専攻における病院との連携

【美術工芸学部絵画専攻】

H24年度から那覇市立病院と連携し、医療環境におけるアートのホスピタリティの可能性を探る共同研究を継続している。



連携病院との協議により選定された区画（6F健診センターなど）壁面をギャラリーに見立て作品を展示している。²⁴

4-1-1. 地域や社会との連携による専門教育及び研究の実践

音楽学部の取組事例①：「首里城コンサート」

【音楽学部琉球芸能専攻】

H26年に包括的連携協定を締結した（一財）沖縄美ら島財団との共催により、当蔵キャンパスに隣接する首里城（首里杜館）において定期的にコンサートや芸能公演を行っている。

首里城という琉球古典音楽発祥の場所において、アートマネジメントの実践の場ともなっている。



首里城「首里杜館（レストハウス）」での演奏風景

4-1-1. 地域や社会との連携による専門教育及び研究の実践

音楽学部の実践事例②：「県庁ロビーコンサート」

【音楽学部実技系専攻・コース】

H27年度から沖縄県庁との連携により、
毎月1回ランチタイムに沖縄県庁ロビーにて
ロビーコンサートを継続的に実施し。

聴衆を前にした演奏の実践演習となっている。



演奏風景：打楽器アンサンブル



演奏風景：金管アンサンブル



演奏風景：声楽アンサンブル



演奏風景：木管アンサンブル

4-1-1. 地域や社会との連携による専門教育及び研究の実践

音楽学部の実践事例③：「平和祈念堂レクイエムコンサート」

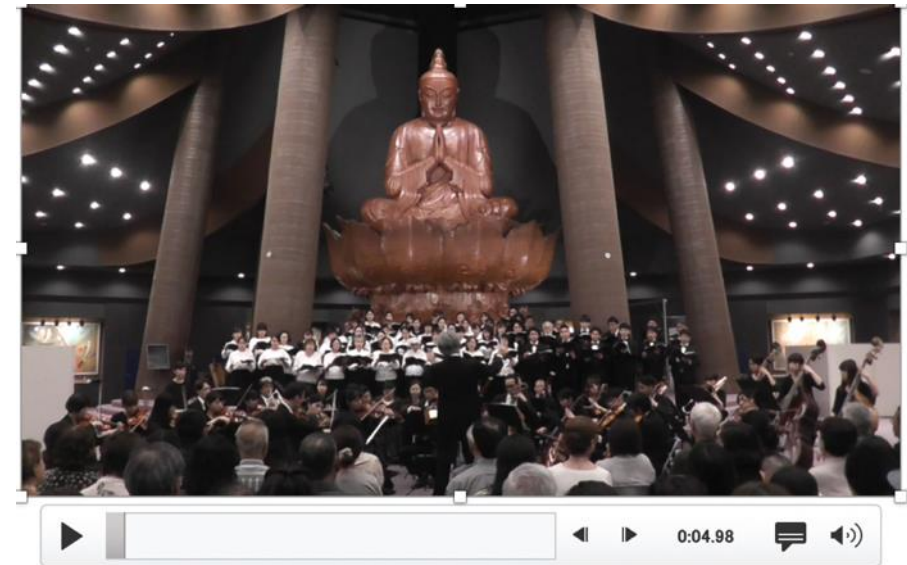
【音楽学部実技系専攻・コース】

H28年から（公財）沖縄協会との共催により、慰霊の日に合わせて沖縄平和祈念堂において、恒久平和を祈念して「モーツァルト：レクイエム」を奉納演奏している。

音楽学部学生にとっては、合唱、オーケストラによる実践的な学習の場となっている。



演奏風景：観客数も年々増加している。



動画：コンサートの演奏の様子。

4-1-1. 地域や社会との連携による専門教育及び研究の実践

音楽学部の実践事例④：「本学及び地域での公演活動」

県内有数の音響性能を持つ本学「奏楽堂」での公演をはじめ、県内各地のコンサートホールで数多くの公演を実施。広く学外に向けて本学の教育研究成果を発信するとともに、地域への還元を行っている。音楽学部学生にとっては、極めて質の高い実践学習の場となっている。



本学「奏楽堂」での吹奏楽定期演奏会



「南城市シュガーホール」でのオーケストラ定期演奏会



「沖縄市民会館」での演奏会



本学「奏楽堂」での室内楽定期演奏会

4-1-2. 地域文化に関わる教育及び研究

・組踊や琉球舞踊、沖縄芝居等に用いられてきた「しまくとぅば(琉球語)」による教育の実践

取組内容

沖縄文化の基層である「しまくとぅば」を用いて、琉球古典芸能（琉球舞踊・組踊・歌三線）実技を教授する実践的教育プログラムである。

沖縄県「しまくとうば普及推進計画」における事業を母体として派生した取組であり、本学芸術文化研究所が運営主体となり、音楽学部(琉球芸能専攻)との協働で実施されている。



琉球舞蹈



歌三線



組踊



4-1-3. 研究成果及び専門知識・技術の提供

「琉球王国文化遺産集積・再興事業」 「首里城復興基金事業」 「首里城未来基金事業」

H27年度以降、沖縄県立博物館・美術館「琉球王国文化遺産集積・再興事業」、R2年度以降、沖縄県「首里城復興基金事業」及び「首里城歴史文化継承基金(未来基金)事業」に関連分野の教員が参画、本学の専門的知識や技術協力を行う中で、大学院生も参加し、伝統技術継承を担う人材育成の場となっている。



監修風景：石彫分野



作業風景：漆芸分野



作業風景：染分野



作業風景：絵画分野

4-1-4. 首里城復元における技術継承・人材育成の取組

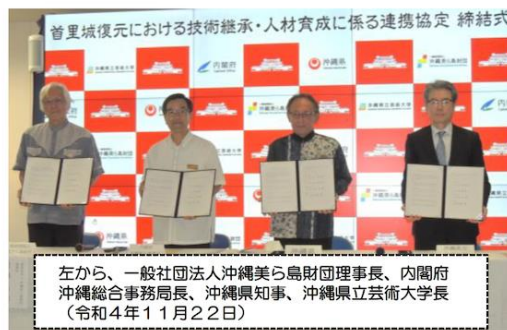
背景

- 国の「首里城復元に向けた技術検討委員会」において、今回の首里城復元における技術者の確保について検討するとともに、北殿・南殿等の復元やその後の首里城全体の補修等も見据えた中長期的な人材育成の重要性が指摘されている。
- 沖縄県においても、「首里城復興基本計画」（令和3年3月）で、「伝統技術の活用と継承」を目指すとともに、令和4年度から新たに「首里城未来基金」を設置し、伝統的な建築に係る技術継承・人材育成を目指している。

主な取組

「首里城復元における技術継承・人材育成に係る連携協定」の締結

- 令和4年11月22日、内閣府沖縄総合事務局・沖縄県・一般財団法人沖縄美ら島財団・沖縄県立芸術大学で協定を締結。
- 同協定を踏まえ、「首里城復元における技術継承・人材育成 一全構針一」（令和5年3月）を4者で策定。内閣府沖縄総合事務局が首里城復元に係る人材育成の全体調整等を担いながら、4者が連携し技術継承・人材育成の取組を実施。



左から、一般財団法人沖縄美ら島財団理事長、内閣府沖縄総合事務局長、沖縄県知事、沖縄県立芸術大学長（令和4年11月22日）

技術継承・人材育成に向けた取組みの実施

- 4者が連携し、首里城で使用する様々な伝統技術に係る技術継承・人材育成の取組を実施。

- 首里城正殿復元工事を担当する施工会社により若手人材へのOJTを通じた指導が行われている他、講義や見学等の機会を4者が積極的に設けることで、将来に向けた技術者の確保を図る。

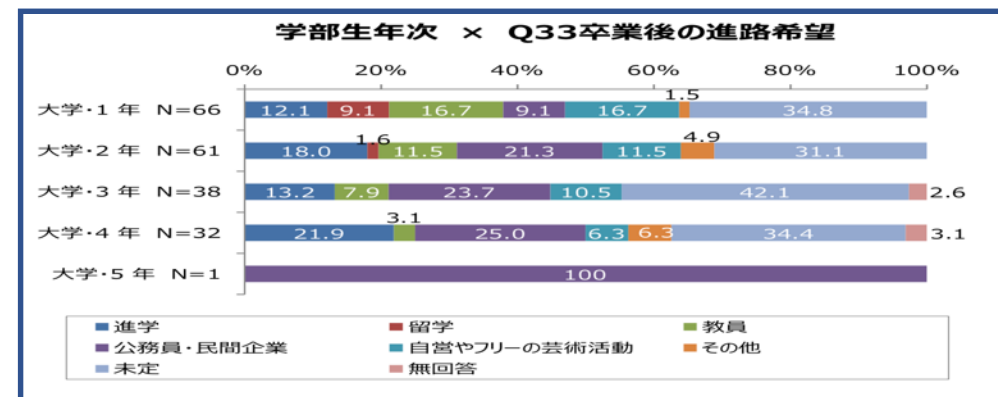


4-2. 本学のキャリア教育・就職支援

本学では、学生の進路希望に沿ったキャリア・就職支援、企業・団体等と連携してワークショップや就職説明会を実施し、多面的な人材教育に取り組んでいる。

取組内容例

- 例1) 全学教育科目に「芸術とキャリアデザインI」を開設し、1年次から受講可能なキャリア教育を行っている。卒業生や企業人をゲストに迎え、大学での学修を社会に繋げる進路イメージの構築を目指している。
- 例2) 専門教育でも、実務経験のある専任教員をはじめ、多様な実務家によるキャリア観や職業観の醸成に努めている。
- 例3) 就職支援室では学生の進路希望に沿った面談、セミナーやワークショップを実施し、企業が参加した就職説明会を定期的開催している。



グラフ：「令和元年度 学生満足度調査」における進路希望調査



授業風景：「芸術とキャリアデザインI」



授業風景：「初年次セミナー」



本学における就職説明会の様子



進路相談室の様子

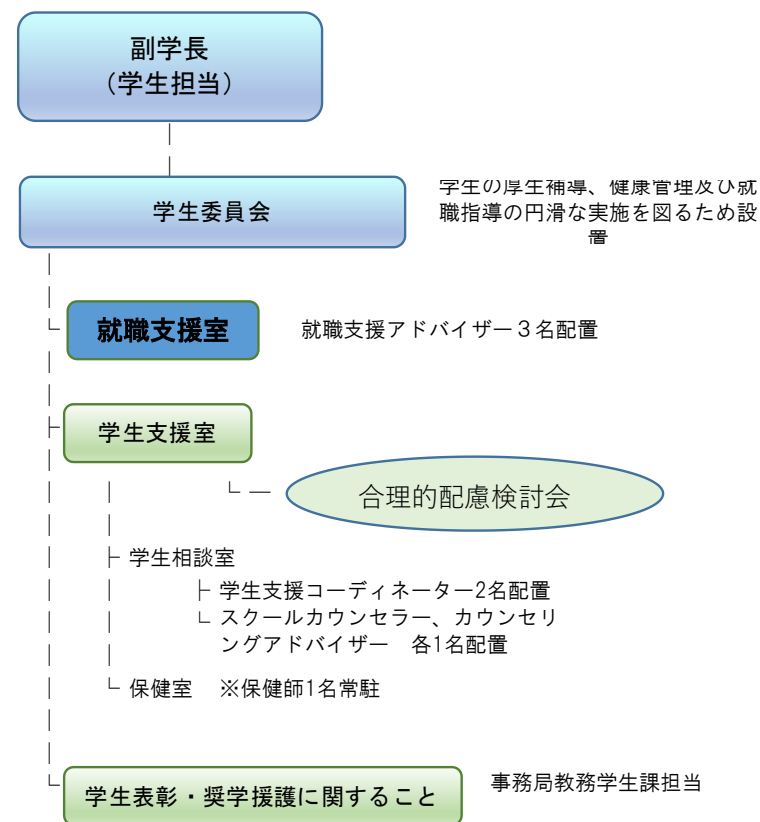
5. 本学学生の就職状況について

【就職支援に関する大学の体制】

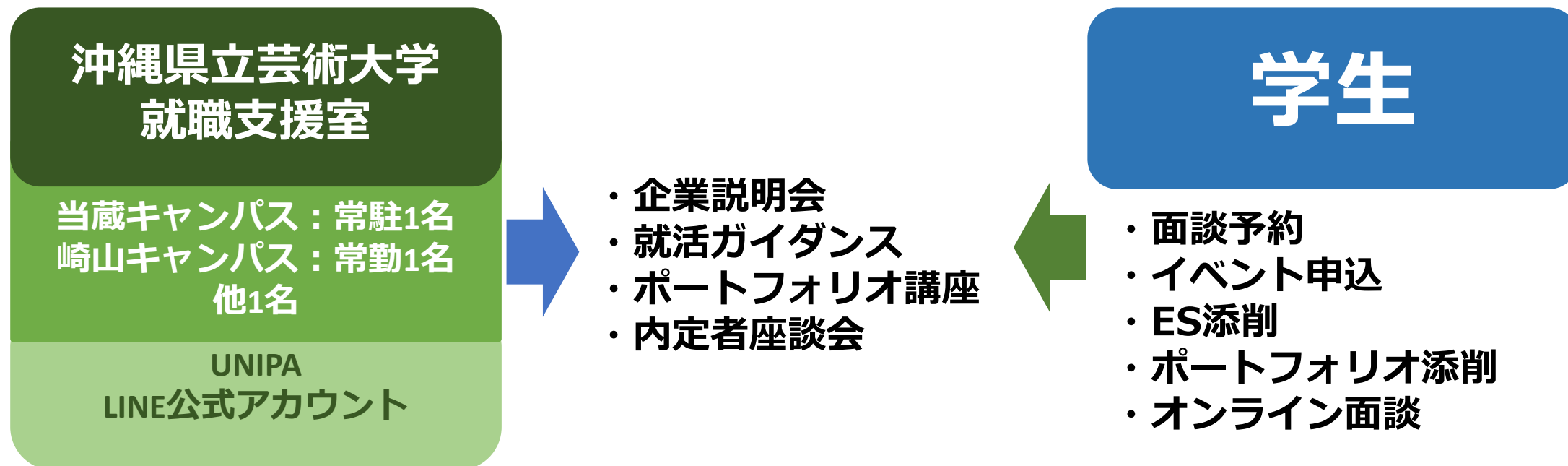
- 全学学生委員会のもとに就職支援室を設置
- 就職支援の状況について全学委員会で情報共有
- 全学委員会で共有された情報を基に、大学の就職支援活動方針を検討

*大学としての就職（キャリア）支援方針を検討する体制を構築中。

沖縄県立芸術大学 学生支援関連部署 組織図



5-1. 就職支援室の体制



＊スマートフォンで情報の送受信を行うことで、就職支援室へのアクセスが容易になり、相談しやすい循環が生まれる

5-2. 就職支援室の取組

『伴走型の就職支援』の位置づけ

* 伴走型支援・・・丁寧な面談ときめ細やかなサポートにより、学生自身の自覚と主体性を育む就職支援

1. 初期対応・・・3種類の心理テストを実施（YG検査、エゴグラム、価値観診断）

・個々に合った働き方を模索→定着率を主眼に置いた就活

2. 自己分析・・・モチベーショングラフの作成

・過去から現在に至るまでの成功体験、挫折体験の棚卸しを行い自身の強みや弱みを把握

※ES、面接時の自己PRに繋げる

3. 個別面談における具体的就職支援

I. マッチング AI適職診断（大手就活サイトを活用）

II. エントリー 求人の無い企業への希望者はアポイントのサポート（架電、メールでの問い合わせ方等）

III. ES作成/添削（ES添削他含む）

IV. ポートフォリオ(作品集) 作成指導/添削

V. 面接指導 想定問答、模擬面接

5-3. 就職希望者の動向と傾向について

【就職希望者の割合】

- 美術工芸学部： 約40 %（うち内定率：約80%）
 - 音楽学部：約30%（うち内定率：約80%）
- ※過去2年の平均値

*上記のほかは、進学（大学院）、作家、演奏家・実演家活動等の分野で独立して活動するケース、教員など教育職などが多い。

5-4. 就職内定先の分析

① 年度ごと就職希望者に対する内定率

R3 = 75% R4 = 83.6% R5 = 91%

② 内定先企業地域

県内 = 36% 県外 = 64%

③ 主な就職先 (R4～R5)

カリモク（家具）、星野リゾート（観光）、中部フィルハーモニー管弦楽団（楽団）、小・中・高等学校教員（専任）他

④ 就職先の傾向

美術工芸学部：専門分野または隣接分野の就職先が多い。

音楽学部：一般総合職など、音楽の専門ではない分野の就職が多い。

5-5. 就職支援活動の中で見えてきた傾向

就職活動の内定率への影響

- ・ 就職活動を3年次から開始した学生は、ほぼ100%の内定率

＊ 3年時就活開始者は2年続けて内定率100%

5-6. 就職先からの評価

- ・採用実績のある企業からは高評価を得るケースが増えており、本学学生を優先的に採用するケース、また関心をもち、優先的に個別企業説明会の開催の打診など、好循環が生まれてきている。

例) 芸大生を初めて採用した企業が、説明会やインターンシップの開催を希望するケースが増える。

＊新規で企業説明会を芸大生向けに開催する企業が
2年続けて10社を超える（うち8社は前年度卒業生を採用）

5-7. 今後の人材育成について

- 芸術系の学修で培われたスキルや発想など、これからの予測困難な社会において必要とされるデザイン思考やアート思考を活かして、社会の課題を解決できる人材、新たな価値を創造できる人材の育成。
- 学生が自らの強みや個性を自覚し客観視できるよう、少人数制の強みを活かした、きめこまやかな指導・サポートによる、履修指導とキャリア・就職支援を推進。
- より多くの選択肢の中から、自らの責任により納得して進路を選びとるための思考力と行動力の育成。
- 入学期→学修期→卒業までを一体的に捉えたキャリア教育、キャリア・就職支援をさらに推進。

6. 質問事項への対応について

- 入試に関する質問事項については、以下に記載するフォームによりご質問ください。
- 質問に対する回答は個人情報等に配慮したうえで、本学ウェブサイトにてQ&Aの形式で公表することで代えさせていただきます。
- なお、入試の公平性や公正性に抵触するおそれのある質問には回答できないことがあることを予めご了承ください。
- URL:<https://forms.gle/59XbnDLeXYpErpCG6>

7. その他

- ・本説明会に関する参考資料のご紹介

*参考資料については、「[令和7年度（令和6年度実施）入学者選抜説明会](#)」のページに掲載しております。

- 沖縄県立芸術大学、美術工芸学部、音楽学部アドミッション・ポリシー
[別紙 1](#)

- 総合型選抜について [別紙 2](#)

- 令和7年度入学者選抜における実施教科、配点 [別表 1](#)

- 令和7年度入学者選抜(一般選抜)における大学入学共通テストの利用
教科・科目 [別表 2](#)

- 平成21年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程（旧教育課程）を履修した入学志願者等のうち希望する者に対して、経過措置として
選択できる教科・科目 [別表 3](#)



ご清聴ありがとうございました。



沖縄県立芸術大学
OKINAWA PREFECTURAL UNIVERSITY OF ARTS